

SuperStream

内部統制の法令遵守を目的に、4ヶ月の短期導入に成功。
 拡張性豊かなSuperStreamで、さらなるアニメーション事業強化を目指す。

Case Study

株式会社トムス・エンタテインメント

お客様情報



会社名:
 株式会社トムス・エンタテインメント
 設立:
 1946年10月
 資本金:
 88億1686万円
 売上高:
 連結149億7000万円
 単独145億8900万円
 (2008年3月期)
 従業員数:
 544名(臨時従業員含む)
 本社所在地:
 東京都新宿区西新宿3-2-4
 新和ビルディング8階9階
 URL:
<http://www.tms-e.co.jp/>
 事業内容:
 アニメーション作品の企画・制作。1992年にセガグループの一員となり、1995年には、アニメ制作大手の株式会社東京ムービー新社と合併。現社名になったのは、2000年1月。

パートナー情報

会社名:
 キヤノンITソリューションズ株式会社
 設立:
 1982年7月1日
 資本金:
 36億1,711万円
 売上高:
 779億7,900万円
 (2009年12月期 連結)
 従業員数:
 4,077人
 (2009年12月末日現在 連結)
 本社所在地:
 東京都港区三田3-11-28
 URL:
<http://www.canon-its.co.jp/>
 事業内容:
 コンサルティングから企画・設計・開発・運用・保守まで、システムのライフサイクル全般にわたるトータルサービスを提案。

アニメーション制作会社大手の株式会社トムス・エンタテインメント(以下、トムス・エンタテインメント)は、内部統制の対応を目指して、財務会計システムを刷新しました。ほぼノンカスタマイズで導入できるSuperStreamを採用したことで、実質4ヶ月での短期導入を実現。処理フローが「見える化」し、内部統制へ対応するシステムを、予定どおりに2008年4月から本番稼働しています。また、機能拡張が柔軟にできるSuperStreamを中核に据えたことで財務の質を高め、今後の管理会計強化、そして、アニメーション事業強化に大きな道を拓くことができました。

導入背景

内部統制の法令遵守が「待ったなし」の急務

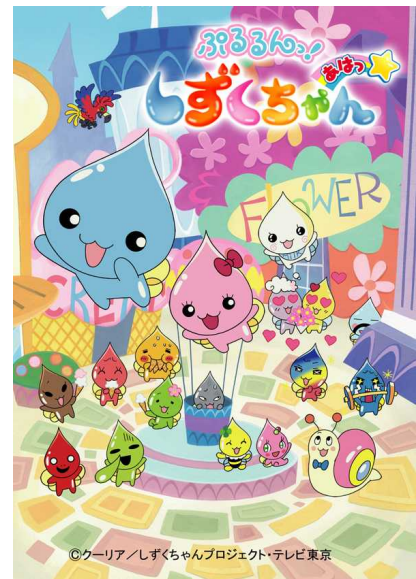
「それいけ! アンパンマン」「名探偵コナン」「ぶるんっ! しずくちゃん あはっ」など、世代を超えて愛され続けるキャラクターを次々に生み出してきたのが、アニメーション制作会社、トムス・エンタテインメントです。

同社では、数年前から、財務会計システムの刷新を検討してきました。「当時の財務会計システムは、オフコン用に開発したアプリケーションをWindowsサーバーへ移植したもので、現在のビジネスニーズに即した新しい機能を盛り込むことができませんでした」と、株式会社トムス・エンタテインメント 情報システム部長の岩崎 豊氏は説明します。

アニメーションビジネスは、キャラクターグッズ・DVDなどの販売や海外展開など、1つの作品をさまざまな領域で活用することで収益が大きく変わってきます。トムス・エンタテインメントは8,300話数を保有しており、このアニメコンテンツを複数のメディア上に展開する、「ワンソース・マルチユース」を戦略的に実施してアニメーション事業を強化するため、新機能をタイムリーに搭載できる基幹システムの構築が課題となっていました。

もうひとつ、時代に即した新しいニーズの最たるものが内部統制への対応です。トムス・エンタテインメントは早くから名古屋証券市場に上場しており、内部統制の法令を遵守する体制づくりが急務になっていました。

特に財務会計システムにおいて、誰が何を操作したのかといったオペレーションをきめ細かく記録するログ管理、必要に応じて情報を追跡・検索できる処理証跡、監査用のレポートとして提出するためデータの正確性を確保する機能等が不可欠です。しかし、15年以上前に開発したオフコン用プログラムに、これらの機能を追加することは不可能でした。



システム選定と導入

既存システムとのシームレスな連携を実現

財務会計システムとしてSuperStreamを選んだ理由としては、次のような評価ポイントが挙げられます。

第1はコストパフォーマンスです。トムス・エンタテインメントはアニメーション事業の様々な展開を考え、将来的にシステム拡張、それにともなう運用コストを見据える必要がありました。

「初期導入費用と保守費用を総合的に捉え、投資対効果を評価しました。財務会計システムはバージョンアップや法改正への対応が不可欠ですから、数年間にわたる保守費用を正確に見極めることがとても重要でした」と、株式会社トムス・エンタテインメント 経理財務部長 岡山 仁氏は強調します。

第2のポイントは、開発期間が短いことです。

内部統制の法令を遵守するには、2008年4月1日から新しい財務会計システムを使い始める必要があります。フィット&ギャップの分析期間やカスタマイズボリュームが少なく、短期間での構築が可能なパッケージを求めました。

「実際にSuperStreamは、2007年9月に採用を決定してから、わずか4ヵ月後の2008年1月には、従来システムとの並行稼働をスタートできました。機能が多く、実績豊富であり、また連携が容易なソフトであるため、同年4月には無事に完全本番稼働へ移行できました」と岩崎氏は語ります。

決め手となった第3のポイントは、SuperStream専用の連

ソリューション概要

導入プロダクト名:

SuperStream-CORE
(基幹会計システム)
SuperStream-AP+
(支払管理システム)
SuperStream-FA+
(固定資産・リース資産管理システム)
superstream-connect
(システム連携ツール)

携ツールを使用することにより、既存の販売管理、制作原価管理システムとシームレスな連携ができることです。「既存システムとの連携では、インターフェース部分のスクラッチ開発を避ける必要がありました。なぜなら、バージョンアップするたびにスクラッチ開発したインターフェース・プログラムを保守していると、障害発生リスクが高まります。そのため、財務会計システムの開発元が提供する連携ツールでつなぐことは、大変重要なポイントでした」と岩崎氏は言います。

導入効果

内部統制への対応、処理フローの「見える化」を実現し、企業価値の向上へ

新しい財務会計システムが予定通りに稼働開始でき、トムス・エンタテインメントは、内部統制の法令遵守を予定通り実現することができました。会計処理は一本化され、インターフェースプロセスなど処理フローも「見える化」を実現し、より正確で信頼性の高い会計データの作成など、企業価値を高める体制が整いました。

また、他システムのデータ出力、データ連携が容易になるなど、SuperStreamを中核に据えたことで、今後のシステムの拡張性を確保しています。

経理財務部では、各事業の合算などに伴う手作業がなくなり、経理関係の様々な資料作成といった作業負担も大きく軽減されました。予実対比表なども自動生成され、来年少は前年比較も自動処理できるようになります。

新システムは一般社員からも歓迎されています。以前のオフコン・システムでは、遠隔拠点でのデータ入力であればデータの不整合といったトラブルの発生がありましたが、現在では、ネットワーク対応が行き届き、遠隔入力を高い信頼性で確実に実行しています。

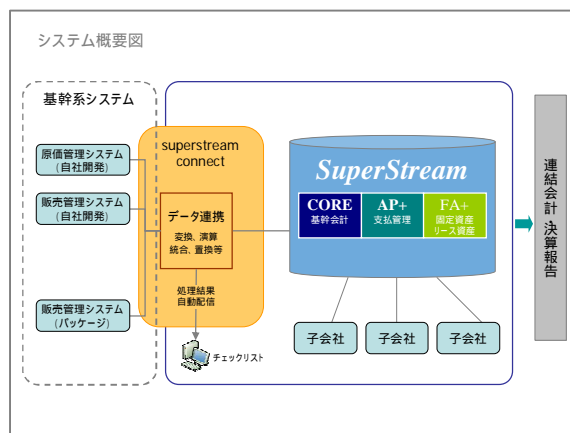
今後の展望

アニメーション事業の強化に向けて拡張できる柔軟な基幹システム

トムス・エンタテインメントは、管理会計や収益管理の強化が今後のテーマであり、さまざまな基幹系のデータを戦略的に経営へ活かす、データ分析環境を整えていく予定です。

「マルチコース、マルチメディア化が進んだことで、1つの作品のライフサイクルが長くなっています。たとえば、『それいけ！アンパンマン』はすでに20年もライフサイクルが続いています。こういう長期にわたっての作品の生涯収支管理や、キャッシュフロー上の投資回収管理など、より経営に反映させるデータを作成する予定です」と岡山氏は語ります。

SuperStreamによって拡張性豊かな財務会計システム構



築に成功したトムス・エンタテインメントは、基幹系データをこれまで以上に戦略的に活用しながら、アニメーション事業のさらなる強化に取り組んでいきます。

パートナーコメント

お客様の企業価値向上を手助けいたします

お客様にとって、長年使用してきた会計システムを刷新することは大きな冒険であり、失敗は許されません。中堅企業を中心に5,000社以上の導入実績があり、上場企業でも約500社に導入されているSuperStreamであれば、ご満足いただける結果を出せると確信してご提案いたしました。

それでも、COBOLで作られた複雑なインターフェース・プロセスをオープンシステム対応に置き換えることは容易ではありませんでしたが、superstream-connectで開発/実装の全体工数が削減できたことで、短期導入を実現することができました。

今後も、管理会計のさらなる強化に向けて追加提案を行い、お客様の企業価値向上の手助けてまいります。

キヤノンITソリューションズ株式会社
第一ソリューション推進センター ビジネスITソリューション部 SS営業課
主任 曾根 英二氏



株式会社トムス・エンタテインメント
管理本部
経理財務部長
岡山 仁氏



管理本部
情報システム部長
岩崎 豊氏

お問合せ先

エス・エス・ジェイ株式会社

統合業務パッケージ「SuperStream (財務会計・人事/給与)」の開発・販売を行うパッケージベンダー。
「SuperStream」は、1995年6月の販売開始以来、国内の中堅企業を中心に累計5,047社(2008年3月現在)が導入しています。

〒104-0054
東京都中央区勝どき6-1-15 勝どきYSビル
Tel: 03-5548-7851 Fax: 03-5548-7852

キヤノンITソリューションズ株式会社 第一ソリューション推進センター ビジネスITソリューション部 SS営業課

〒108-0073
東京都港区三田3-11-28
Tel: 03-5730-7901 Fax: 03-5730-7097
<http://www.canon-its.co.jp/>

<http://superstream.jp/>

本導入事例に記載された情報は初掲載時のものであり、閲覧される時点では変更されている可能性があることをご了承ください。また、導入事例に記載されている製品名及びサービス名等は、各社の登録商標または商標です。